

京都のミカタ

ミカタとは、市民の見方、くらしの味方という意味を表しています



安心・安全の京都を目指して!!



平成26年度予算編成に関する 要望を 門川市長に提出



公明党京都市会議員団は、平成25年11月28日、京都
市予算編成にあたり、重点
項目59項目を含む全209
項目の要望書を門川大作市
長に提出しました。

昨年の平成25年9月に発生した
台風18号を教訓に、公明党京都市
会議員団は豪雨災害も含めた京都
市の災害対策を強化する事を要望
更には、実感できる景気回復と福祉
の向上についても重視し、「市民生活
を守る」との決意で具体的な施策を
提案しました。

重点項目は①地震対策とあわせ
た水災害対策の強化。②京都経済
の再生と雇用創出の更なる推進。
③京都市交通安全基本条例に基づ
く、市民や観光客が交通事故に遭
わないための安全対策強化。④チャ
イルドファースト社会の実現に向
け、子育て支援の更なる推進。⑤防
災・減災の視点にたった道路や橋な
どの社会インフラの長寿命化―な
ど市民生活の向上と安心安全に力
点を置いています。
門川市長は「提案された政策はい
ずれも重要で、私も賛同します。予
算編成に生かしてまいります」と決
意を表明されました。

平成26年度・京都市予算編成に対する要望(要旨)

1 防災危機管理・安心安全

- ・台風18号による大雨洪水被害を踏まえ、地震対策とあわせ水災害対策の強化。
- ・自主防災組織に対する支援と、災害弱者・要配慮者対策の強化。
- ・消防団員の若者や女性の入団促進への取り組み。
- ・新消防指令システム整備に伴い、スマートフォン等の翻訳機能等の活用。

2 行政運営・財政改革

- ・子育て支援を全庁的に進めるための取り組みの強化。
- ・公会計制度改革を積極的に進め、財政の見える化とムダ削減を強化。
- ・職員不祥事に対し、オール京都市でのコンプライアンス体制の推進。
- ・「大学のまち京都・学生のまち京都推進計画」の着実な推進。

3 産業・観光

- ・産学公の連携強化で京都の産業振興策推進及び、中小企業の成長と雇用創出。
- ・若者の雇用対策は、正規雇用の増大やワークライフバランスを重視した雇用施策の推進。
- ・2020年の東京オリンピックを見据えた京都への観光振興施策の取り組み強化。

4 環境・エネルギー

- ・「京都市エネルギー政策推進のための戦略」を着実に推進。

- ・行政・事業者・市民が連携し更なるリデュース・リユースを促進。
- ・家庭ごみの減量について、市民、家庭の取り組みが評価できるプログラムの開発。
- ・ごみ減量・再資源化等の推進により、3クリーンセンター工場体制を安定的に維持管理。

5 文化芸術・市民生活

- ・「文化首都・京都」への体制を拡充し、文化芸術創造都市としてのビジョンの発信。
- ・「京都市自転車安心安全条例」による更なる自転車走行マナー向上への取り組み。
- ・「京都市交通安全基本条例」に基づく、市民や観光客が交通事故に遭わないための安全対策強化。
- ・京都の多様なスポーツ文化が息づく市民スポーツの首都への取り組み。

6 福祉・子育て・教育

- ・「動物愛ランド・京都」について、市民に愛されるぬくもりを感じることが出来る施設への体制を推進。
- ・「京都市版地域包括ケアシステム」の推進を図るため、福祉事務所が地域のネットワーク構築を支援。
- ・乳がん・子宮頸がん・大腸がん検診の無料クーポン券の継続と胃がんリスク検診を積極的に推進。
- ・「チャイルドファースト」社会の構築に向けて、更なる子育て支援を充実。
- ・若年性認知症対策についての相談体制の更なる充実と地域と家族を支える取り組み。

- ・学校施設の非構造部材の耐震化と教育現場における実効性ある防災教育の推進。
- ・通学路の安全対策として、地域の意見を十分に踏まえ、歩道整備や道路改良の取り組み強化。
- ・いじめ根絶に向け、各関係機関と連携を図り、いじめ対策の更なる強化。
- ・がんに関する正しい理解を深め、将来的ながん検診につながる健康教育の推進。

7 まちづくり

- ・「京都市空き家の活用、適正管理等に関する条例」に基づき、実効性ある取り組みの強化。
- ・京都駅南口駅前広場整備での、観光バスのショットガン化による交通システムの早期実施。
- ・歩行者の安全の観点から車道における自転車レーンの整備の促進。
- ・市民の命と財産を守るため、道路や橋など社会インフラの長寿命化の再整備の強化。

8 交通・水道

- ・地下鉄1日5万人増客目標達成に向け全庁一体となった取り組みの強化。
- ・「市バス事故ゼロ」に向け、公営交通事業の安全運行対策の一層の促進。
- ・市バス・地下鉄・民間交通事業者との乗り継ぎ利便性向上のため、市バスへのICカード利用の導入。
- ・駅ナカビジネスの充実とより一層の取り組み。
- ・上下水道の老朽化対策と鉛製給水管の早期解消に向けた対策強化。

特報!

2月定例市会が開会中
(2月14日~3月17日)

本会議代表質問は、2月20・21日に行われ、公明党からは、ひおき文章議員(北区)、津田早苗議員(伏見区)、吉田孝雄議員(上京区)の3名が2月21日午後から登場します。KBS京都テレビでも生中継の予定。ぜひご覧ください!



谷口 弘昌 議員「伏見区」

台風18号による浸水被害について

谷口弘昌議員は、台風18号の被災者の生活再建のために、誠意ある支援を速やかに進めるべきであると訴えました。門川市長は、排水機場ポンプの一時停止の原因究明を急ぐとともに、現場の状況に応じた柔軟な対応と徹底した情報公開を約束しました。

ワールドマスターズゲームズについて

さらに、高齢化時代における幅広い世代のスポ



第8回ワールドマスターズゲームズトリノ大会(2013年)

ーツ振興への大きな足がかりとなる「ワールドマスターズゲームズ」招致のリーダーシップをとるべきと主張。市長は京都の魅力の世界に発信する絶好の機会ととらえ、全力を挙げると答弁しました。

給食による食物アレルギーについて

また、食物アレルギー対策について、現場の意見を尊重して積極的に進めるべきと提言。生田教育長は、緊急時に適切に対応する体制を強化し、マニュアルを年度内にまとめると明言しました。

谷口弘昌議員のおもな質問項目

- ワールドマスターズゲームズについて
●京都市美術館の将来構想について
●台風18号による浸水被害について
●給食による食物アレルギーについて



井上 教子 議員「下京区」

京都動物愛護センターについて

井上教子議員は、7月28日から8月6日まで超党派の海外行政調査でヨーロッパの先進事例を研さんした知見を盛り込んだ緊急提言を市長に提出したことを踏まえ、京都動物愛護センター「動物愛ランド・京都」に生かすよう求めました。門川市長は、最新の技術を導入



ロームシアター京都(京都会館)完成予想図

して提言の具体策を実現すると約束しました。

ロームシアター京都について

また、平成28年開業を目指すロームシアター京都(京都会館)が市民に愛される施設となるための取り組みを議論。市長は、京都が持つ文化力を発揮し、観光戦略を充実すると答弁しました。

高齢者福祉について

認知症の方への適切なケアである「パーソンセンタードケア」をはじめ、介護サービスの質的向上を

井上教子議員のおもな質問項目

- 京都動物愛護センターについて
●子育て支援について
●ロームシアター京都について
●高齢者福祉について
●岡崎地域におけるスマートシティの取組について
●敬老乗車証の今後のあり方について(要望)

代表質問

京都活性化へ!

京都市会定例本会議の代表質疑で、公明党市会議員団は市民の声を届け、生活実感に裏付けられた政策を提言。平成25年9月議会では10月2日に谷口弘昌議員(伏見区)、井上教子議員(下京区)、青野仁志議員(中京区)が、11月議会では12月2日に大道義知議員(南区)と国本友利議員(左京区)が質問に立ちました。

防災対策について



青野 仁志 議員「中京区」



ゲリラ豪雨対策システム「Xレイン」の画像

青野仁志議員は、避難所の備蓄品の充実とゲリラ豪雨対策として最新技術「Xレイン雨量情報」の導入を提案。藤田副市長は、「備蓄計画策定検討会」の設置と豪雨対策システムの導入を明言しました。

路面下空洞調査について

次に、直下型地震の可

歴史的建築物の活用と安全確保について

さらに、京町家など歴史的建造物の安全性確保と活用の推進への支援を拡充するべきと主張し、京町家を活用した宿泊施設の状況を把握の上で対

応を検討するよう提案。平口副市長は対策会議の開催と条例の改正を表明しました。

青野仁志議員のおもな質問項目

- 京都の経済基盤を支える産業の育成について
●防災対策について
●路面下空洞調査について
●公会計制度改革について
●歴史的建築物の活用と安全確保について

はかるとともに、団塊の世代が医療や介護の正しい知識を持って地域の支え手になって頂けるような取り組みを提案。藤田副市長は積極的に取り入れると意欲を示しました。



だいてう よしとも
大道義知 議員「南区」

**今後のICカード
乗車券の普及促進策
と増客対策について**

大道義知議員は、消費税率引き上げに伴う交通局の運賃改訂は避けて通れないが、算定根拠などの説明責任を果たすべきと指摘。1円単位の運賃制導入とICカード乗車券の普及促進を提案しました。門川市長は協議会で



市バス新運転計画を3月に発表する交通局

の検討を約束すると共に、均一運賃区間を「嵯峨・嵐山地域」まで拡大すると答弁しました。

**コンプライアンスの
推進について**

また、不祥事を根絶するため職員倫理確立が急務であるとの問題意識から提起したコンプライアンス指針の策定と監察体制整備および第三者機関の設置等について、市長が実施を確約しました。

**大規模マンション
建設時における子育て
環境の整備について**

さらに、マンションと地

域が共生するまちづくりを進めるため、地域ぐるみの子育て環境を整備する制度を検討するよう求めました。

大道義知議員のおもな質問項目

- 今後のICカード乗車券の普及促進策と増客対策について
- コンプライアンスの推進について
- 大規模マンション建設時における子育て環境の整備について



くにもと ともとし
国本友利 議員「左京区」

**コミュニティ
ソーシャルワーカー
制度の導入について**

国本友利議員は、既存の福祉サービスでは対応しきれない要援護者への援助のため、地域に密着した「コミュニティソーシャルワーカー」を導入するべきと論じ、藤田副市長が積極的な検討を約束しました。

**森林バイオマス
エネルギーの利活用
の進捗状況と今後の
方向性について**

次に、災害に強い森林を整備するため、「京都発・森林バイオマスエネルギー」の活用促進事業の拡充を提案。門川市長は、健全な森林を保全する具体策を様々な角度から推進する方針を年度内に決定する

**教員の人事異動・
交流について**

と答弁しました。また、小中一貫教育の充実を図り、子ども達の学



人事交流で小中一貫教育が充実へ

国本友利議員のおもな質問項目

- コミュニティソーシャルワーカー制度の導入について
- 森林バイオマスエネルギーの利活用の進捗状況と今後の方向性について
- 教員の人事異動・交流について

平成25年市会定例会 意見書・決議

【9月議会】

件名	提出会派	会派名					
		公明党	自民党	共産党	民主党	京都党	無所属1
台風18号による豪雨災害に関する意見書	全会派	○	○	○	○	○	○
地方税財源の充実確保に関する意見書	全会派	○	○	○	○	○	○
公共事業における国産材の活用を求める意見書	全会派	○	○	○	○	○	○
鳥獣被害防止対策の充実を求める意見書	全会派	○	○	○	○	○	○
認定こども園の認定権限等の移譲を求める意見書	自民、民主、公明、京都、無1、無2	○	○	×	○	○	○
地域の中小企業へ更なる支援を求める意見書	自民、民主、公明	○	○	×	○	○	×
福島原子力発電所の汚染水対策の強化を求める意見書	自民、公明、京都、無2	○	○	×	○	○	○
若い世代が安心して就労することができる環境等の整備を求める意見書	自民、公明、無1、無2	○	○	×	×	○	○
新聞への消費税の軽減税率の適用を求める意見書	自民、公明	○	○	×	×	×	×
決議 京都御苑周辺の環境保全に関する決議	自民	○	○	○	×	○	×

【11月議会】

件名	提出会派	会派名					
		公明党	自民党	共産党	民主党	京都党	無所属1
ウイルス性肝炎・肝硬変・肝がんの患者に対する医療費助成の拡充を求める意見書	全会派	○	○	○	○	○	○
出生届の記載事項から嫡出子・嫡出でない子の別を削除することを求める意見書	公明、共産、民主、京都、無1、無2	○	×	○	○	○	○
中国による防空識別圏の設定の即時撤回を求める意見書	自民、公明、京都、無1、無2	○	○	×	○	○	○
公共工事の入札不調を解消する環境整備を求める意見書	自民、公明、無1、無2	○	○	○	○	○	○
介護保険制度における新たな地域支援事業の導入に係る意見書	自民、公明、無1、無2	○	○	×	○	○	○
消費税の軽減税率制度の導入を求める意見書	自民、公明、無2	○	○	×	×	×	○
決議 焼却灰溶融施設の契約解除に関する決議	自民、民主、公明、京都、無1、無2	○	○	×	○	○	○



(注) 公明＝公明党京都市会議員団
自民＝自由民主党京都市会議員団
共産＝日本共産党京都市会議員団
民主＝民主・都みらい京都市会議員団
京都＝地域政党京都京都市会議員団
無所属1＝清水ゆう子議員
無所属2＝森川央議員

ごみからバイオ燃料



世界初の
“都市油田”プロジェクトを視察

京都市は現在、家庭・事業ごみからガソリンの代替燃料として活用できるバイオエタノールを製造する全国初の取り組みを進めています。公明党市議員団は、これまでもバイオマス(生物資源)から再生エネルギーを生むシステムの構築を訴えてきました。

12月12日、京都市西京区に設けられた“都市油田”プロジェクトの実証実験プラントを視察。地産地消にもつながる京都発の施策として、国でも採用するよう支援することを確認しました。



政策提言 市長に提出

京都産業の“未来の価値”を
生み出すワーク・ライフ・バランス

公明党京都市議員団は、毎年テーマを決め、市長に対して政策提言を行ってきました。

今年度は、ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)を取り上げ、2月14日に門川市長に提出。

産業構造が製造業中心からサービス業中心へと変化する中、新たな潮流として、世界的にワーク・ライフ・バランスの取り組みが注目され、先進国を中心に“未来の企業価値”の創出に向けた人材獲得・人材育成の取り組みが必須となっています。

そこで、京都市におけるワーク・ライフ・バランスの推進テーマとして「京都産業の“未来の価値”を生み出すワーク・ライフ・バランスの推進」を掲げ提言しました。



公明党京都市議員団の顔ぶれ

①期数 ②委員会 ③会派役職

中京区
青野 仁志
①1期 ②まちづくり委員会 ③幹事

左京区
国本 友利
①1期 ②教育福祉委員会 ③政調事務局長

上京区
吉田 孝雄
①2期 ②くらし環境委員会 ③政調副会長

北区
ひおき文章
①6期 ②経済総務委員会

右京区
湯浅 光彦
①3期 ②交通水道消防委員会 ③代表幹事

南区
大道 義知
①6期 ②くらし環境委員会

下京区
井上 教子
①4期 ②教育福祉委員会

山科区
久保 勝信
①3期 ②くらし環境委員会

伏見区
津田 早苗
①3期 ②交通水道消防委員会 ③政調副会長

伏見区
曾我 修
①3期 ②まちづくり委員会 ③副団長

伏見区
谷口 弘昌
①6期 ②まちづくり委員会 ③団長

西京区
平山よしかず
①2期 ②経済総務委員会 ③政調会長

京都いつでもコール
市政情報総合案内コールセンター

市の手続きや制度、イベント、施設に関する問合せにお答えする窓口です。
午前8時～午後9時(年中無休)

- TEL:075(661)3755 ● FAX:075(661)5855
- 電子メール(以下のホームページから)
- パソコン <http://www.city.kyoto.lg.jp/sogo/page/0000012821.html>
- 携帯電話 <http://www.city.kyoto.jp/koho/m/cc/>

左記の二次元コードから携帯電話でアクセスできます(一部機種除く)



みなさまの「ご意見」・「ご要望」などを
公明党京都市議員団にお寄せください

- TEL:075(222)3732
- FAX:075(212)3608
- 電子メール: komei@lime.ocn.ne.jp
- ホームページ: [公明党京都市会](#)

